



2025-26年度国際ロータリー会長のメッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

■創 立 1964年3月2日 ■例会日 毎・金曜日12時30分 ■例会場 オークラ千葉ホテル
■会 長 今井 太志 ■幹 事 常世 田正弘 ■会報委員長 赤峰 加功平
■事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2025-26年度

第2906回

2025年9月12日(金)点鐘12:30(曇り)

《ガバナー公式訪問》

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- ・国際ロータリー第2790地区
ガバナー 時田 清次様
- ・国際ロータリー第2790地区第4グループ
ガバナー補佐 武田 勲様
- ・第4グループガバナー補佐幹事・市原中央RC会長
北村謙介様
- ・市原中央ロータリークラブ 幹事 篠田 健一様

◆会長報告

今井 太志会長



皆さま、こんにちは。
本日は、ガバナー公式訪問ということで、お忙しい中を皆様にご来会いただき、ありがとうございます。例会前にガバナーとの懇談会がありました。参考になるお話をたくさん頂戴しましたが、

まずは会員増強をということで、皆様のご協力をぜひとも宜しくお願い致します。
今年の8月平均気温は世界で観測史上3番目に高いそうです。因みに2番目は2023年8月、1番目は2024年8月だそうです。3年連続気温が高いということで、地球温暖化が進んでいるのだと感じます。しかも地球温暖化によるアジア地域の気温上昇スピードが世界平均の2倍といわれています。

そこで我々ロータリアンは何をしたらよいのかを考えてみました。先日は子どもさんたちに集まっていただき、稲刈り事業を行いました。食料の大切さを考えていただいたり、10月5日開催の「国際里山の集い」では、自然環境の大切さを学んでいただければと思っております。

◆委員会報告

社会奉仕委員会 (前島孝夫委員長)

10/5の国際里山の集いの際の駐車場について

出席委員会(廻辰一郎委員長)

本日は、例会100%出席となっております。

本日、お休みの方にはメールをさせていただき、よろしくお願いします。

◆出席報告(会員数56名)

出席者数	欠席者数	ビジター	8/29 修正出席率
43名	13名	4名	69.64%

◆ガバナーより 長寿ロータリアン表彰

《吉田 裕成会員》



◆ロータリー米山記念奨学会より感謝状伝達

《斎藤 昌雄会員》 第15回米山功労者



◆ニコニコボックス報告

○今井 太志会長・常世田 正弘幹事

残暑厳しい折、会員の皆様、本日も例会出席有難うございます。本日はガバナー公式訪問ということで時田ガバナーをお迎えし、例会を開催できますことに大きな喜び、また深い感謝の念に堪えません。

日頃より、ロータリー精神のご指導を賜り、“ありがとう”の思いを新たにします次第です。

本日も実り多きひと時となりますよう心より祈念致します。

○大塚 裕正会員

時田ガバナー、本日は良きご指導、よろしくお願い致します。

○金親 博榮会員

伊藤さん、今年も新米をいただき有難うございます。家族皆で美味しくいただきました。

○杉本 峰康会員

本日は、ガバナー公式訪問です。時田ガバナー、ご指導宜しくお願い致します。

地区幹事団では、お世話になっております。地区大会等お手伝いさせていただきますので、今後ともよろしくお願い致します。

○高橋 豊会員、赤峰 加功平会員

時田ガバナー、本日は当クラブ訪問有難うございます。懇談会では、貴重なお話を有難うございました。卓話、楽しみにしております。

○廻 辰一郎会員

地区社会奉仕委員会でお世話になっております。第4グループの一員として、時田ガバナーを支えるべく頑張っておりますし、これからももっともっと頑張ります！

本日の卓話

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 時田 清次様



こんにちは。

25-26 年度ガバナー、市原中央 RC 所属の 時田清次と申します。よろしくお願いいたします。

RI会長エレクトの交代について皆様にはご不安を与えたことと思います。

6 月 8 日にマリオ RI 会長エレクトが辞任届を提出されました。

6 月 9 日にアーチック RI 会長が辞任届を受領し、RI 細則に従い 6 月 14 日指名委員会はフランチェスコ アレッツォさんを選出しました。

アレッツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。また、矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。



フランチェスコ・アレッツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）が、2025-26 年度国際ロータリー会長になりました。

2025-26 年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。

2023 年 10 月の理事会にてコミュニケーション委員会と戦略委員会が提案し、理事会が承認した。2025-26 年度から複数年のわたる行動計画を軸とした会長メッセージの枠組みを承認した。

ビジョン声明を成功させるために行動計画がありその行動計画を成功に導くためのメッセージとなります。辞任したマリオ氏は「会員増強と活性化」が重要なキーワードだと言っていました。

そのためには、革新、継続、パートナーシップの3つの重点項目があると話されていました。

フランチェスコ氏は「友情と信頼」が大切だと話されています。それぞれ、目的は同じですが、最初の取り組むべき重点項目が異なっています。

また、「UNITE FOR GOOD」のメッセージは、分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロー

本日のニコニコボックス	12,000 円	累計	190,255 円
-------------	----------	----	-----------

タリーは、さまざまな背景を持つ人びと(人種、宗教、職業を超えて)をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

変革とは戦略から始まらない。それは「友情」と「信頼」からはじまります。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。

私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。

私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。

ビジョンの全文を見てみましょう。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。

なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

4 つの優先事項は

インパクトをもたらす。

基盤を広げる。

かかわりを促す。

適応力を高める。



行動計画を作ることとリーダーシップとはどのような関係にあるのでしょうか？

クラブ会長は変化のリーダーになるべく MYROTARY から行動計画を作成し実行することから始まります。

クラブの健康チェックを行うことによりクラブの良いところと改善すべきところを抽出することができます。そのあと、数年先のクラブのビジョンを描き目標を立案します。

ロータリークラブセントラルに年次目標を入力し進捗を確認しましょう。

立案する。構築する。実施する。維持する。評価する。

を繰り返すことにより目標を達成することができますクラブの活性化につながりリーダーの資質を高めることができます。

MY ROTARY のロータリーの基礎知識では、ロータリーは、「私たちは問題を解決し、機会を創り出し、変化をもたらす」

1998年の私の入会時のロータリーとは、「ロータリーとは自分自身の修養の場であり、品位ある上質な思想を涵養し、己の人生、事業の展開に上質な思想を移入するこ

とがロータリーの奉仕であり、職業奉仕だと信じてる」ロータリーの目的からロータリーとはを考えてみました。

ロータリーの目的は(RI 定款第3条、標準 RC 定款第5条)、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにあります。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において日々、奉仕の理念を実施すること。
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

社会奉仕に関する1923年の声明

1.ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

1935 年にRIが出版したポールハリスの著書「THIS ROTARIAN AGE」の奉仕の理想の意味の記述には「物の過程の最初に奉仕を置くものである。換言すれば奉仕の理想を標榜する者は受けるべき物質においてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼すべきである。」

23-34声明の内容を説明したものと思われる。

RI の『公式名簿』(Official Directory) 巻末に記されていたチェスリー・ペリーの言葉「全世界のロータリークラブは一つの基本理念―『奉仕の理念』を持っている。それは他人のことを思いやり、他人の助けになることである。

(Rotary clubs everywhere have one basic ideal ― the "Ideal of Service", which is thoughtfulness of and helpfulness to others.)」が「奉仕の理念」の意味を示した唯一の記述とされていました。

奉仕の理念を育むこととは、ロータリアン一人一人が職業を通し、また日常生活において、高い倫理観を持って、「人に思いやりを持ち、人の役に立つことを実践すること」である。

そして、相手のために最善のサービスをすれば、結果として精神的満足又は物理的利益が得られる。

日々学び、自己研鑽していくことが「人生哲学」につながるものと考えます。ロータリーは一つの人生哲学である。「ロータリーの楽しもう」とは何か？佐藤千寿さんの人造りロータリーからの引用で、

ポールハリスがロータリーを作った動機を聞かれ「ただ淋しかっただけだ」と答えたのは有名な話です。ロータリーを楽しむためには先ず一人でも二人でも友達の輪を広げることから始める必要があります。

人間は「人の間」と書かれるように、人と人との間柄において存在する者であって、厳密な意味で一人だけの人

間は存在ありえないということになります。私があつて貴方あり、貴方があつて私がある。この節理が奉仕の出発点になります。

「ロータリーを楽しもう」Enjoy Rotary は 1989 年から 90 年度国際ロータリー会長ヒュー・アーチャーのテーマでした。アーチャー会長は

「見知らぬ他人の為に自分の時間と能力を捧げて、その人の生活を改善向上させてあげること、自分自身のほうが人間的に大きく成長するのが分かります。他人の尊厳を保つこと、それは我々自身の尊厳を高めることになります。」とっています。

第 1 に友人の輪が広がること、それを出発点として、自他一如の人間成長すること。が「ロータリーを楽しもう」の意味合いとなります。

RI 会長メッセージ「良い事の為に手を取り合おう」は行動計画を成功に導くメッセージでありクラブを成長させます。またロータリーの目的は「奉仕の理念を育む」ことであり自分自身を成長させます。

クラブを成長させる行動計画の実践と自分自身の成長させる奉仕の理念を育むことの、共通点は成長です。

GROW ROTARY

自分もクラブも成長しよう

